

第3学年 体育科学習指導案

日時 令和6年6月20日(木)
13:30～14:15
対象 第3学年2組33名
学校名 文京区立窪町小学校
授業者 今井美紀
場所 体育館

学校の教育目標

○すすんで考え やりぬく子 ○よさを生かし 共に生きる子 ○体をきたえる 元気な子

体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てる。

研究主題

窪町×体育による運動・健康に対する意識改革

窪町小学校の目指す児童像

- 楽しみながら運動する児童
- 自分の体力や健康に関心をもてる児童
- 日常的に運動や遊びにすすんで取り組む児童

中学年の目指す児童像

- ・リズムダンスと表現運動でリズムやイメージを捉えて自己表現することを楽しさや喜びを味わうことができる児童。
- ・健康の大切さに気付き、互いの成長を認め合える児童。
- ・友達との関わり合いの中ですすんで体を動かす児童。

研究仮説

本校の限られた運動環境の中でも、日頃行っている体育科の授業改善を通して児童に運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに、各教科の学習においても運動や健康の側面について積極的に触れさせ、児童が運動に親しめるような環境を整えることで、児童にとって遊びや運動を日常化できるだろう。その結果、将来的な体力や健康、安全意識の向上につながるだろう。

1 単元名 表現運動「レッツゴー！ くぼ町たんけんたい ～なりきっておどろう～ 」

2 単元目標

知識及び運動	表現の行い方を知るとともに、身近なものの動きの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができるようにする。
思考力、判断力、表現力	自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	表現に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	・題材の主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。	・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・課題解決のために、考えたことを他者に伝えている。	・表現運動に進んで取り組もうとしている。 ・友達の動きや考えを認めようとしている。 ・周りの安全を確かめて踊っている。
学習活動に即した評価規準	①表現の行い方について知り、友達に言ったり、ワークシートに書いたりしている。 ②身近な題材の主な特徴をとらえ、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面などの変化のある動きをつなげて、ひと流れの動きにして踊ることができる。	①表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど自己の課題を見付け、友達のよい動きを自己の動きに取り入れている。 ②表したい感じやイメージにふさわしい動きになっているか、友達と見合い、よくなったところを伝えている。	①表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組もうとしている。 ②表したい感じやイメージを表現する友達の動きのよさを見つけたり、楽しく踊るための友達の考えを認めたりしている。 ③友達とぶつからないように気を付けながら、踊っている。

4 運動の特性

(1) 効果的特性（運動の身体的発達に対する効果に注目）

- ・体全体を使って踊り、心を解き放す経験を通して、イメージしたことを表現できる豊かな表現力を身に付けることができる運動である。
- ・素早い動きやゆったりとした動きなどを組み合わせることで体の調整力を高めることができる運動である。

(2) 構造的特性（運動の技術的な仕組みに注目）

- ・自分以外のものになりきって踊ったり、心にある思いや考えを体全体で表現できたりする運動である。
- ・体全体を自由に動かして、動きをつくり出すことができる運動である。
- ・友達と自由に関わり合い、感じ取って踊ることができる運動である。

(3) 機能的特性（運動の欲求や必要を充足する機能に注目）

- ・自分以外のものになりきることが楽しい運動である。
- ・様々なアイデアや工夫を凝らして動きをつくるのが楽しい運動である。
- ・友達の表現を見て共感したり、感動したりすることができる運動である。

5 児童の実態

6 運動の楽しさや喜びを味わわせるための手立て

(1) 明確な課題の提示

① 教師リード

恥ずかしさや不安などから体を動かすことに戸惑ってしまう児童がいると予想する。そのため、教師が率先して体を動かし、児童に同調した動きや対応した動きをするように促すことで、即興的に踊る楽しさを味わうとともに、学習課題を見出すために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

② 題材の工夫

「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 体育編」の中学年の表現運動の領域では、「身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、表したい感じをひと流れの動きで踊ること。」を目標としている。身近な題材とは、「具体的な生活からの題材」やそれと対比する「空想の世界からの題材」と示されている。第3学年では第1、2、4時で「空想の世界からの題材」、第3時で「具体的な生活からの題材」を扱う。

「具体的な生活からの題材」として、児童にとって身近でイメージがしやすいであろう「家の中にあるもの」を単元計画の第3時の題材に設定した。「洗濯機」、「お掃除ロボット」、「調理の様子」などは普段から目にし、機能を理解している。そのため、児童がそれらの動きをイメージし、自分の動きへとつなげやすいのではないかと考える。

第1時と第2時は、第2学年の時に表現あそびをした感覚を取り戻すため、生き物も出てくる「海の中のもの」と「森の中のもの」を題材とした。昨年体験した題材をもとにして、カルタを使ったひと流れの表現運動に発展させていく。第4時は、「宇宙のもの」として、さらに想像力を使って、表現させていく。

③ 学習過程を示す掲示物

どのように学習が進んでいくのかという見通しをもち、意欲を高めながら学習を進められるように「くぼ町たんけんマップ」という地図を活用する。地図のスタート地点からゴール地点を学習過程に見立て、その途中に描かれているイラストからどのような場面が想像できるかを話し合い、話し合ったことをもとに学習計画を立てられるようにする。

(2) 心や体をほぐしスイッチを入れる補助運動

① 心と体をほぐす準備運動

授業の初めに体を大きく使って表現できる準備運動を取り入れる。昨年度の運動会の表現で踊った「ダンスホール」の明るく爽快な音楽を流しながら、毎時間同じ運動をすることによって心と体をほぐし、その後の活動にも意欲的に参加できるようにする。

②ノリノリダンス（リズム運動）

各時間の前半にリズム運動の「ノリノリダンス」を設定した。まず、輪になってマイムマイムを踊り、リズムに合わせて皆で同じ踊りをするこの楽しさを味わう。次に、音楽を流しながら、即興的に踊るめちやくちゃダンスを輪になったまま行う。音楽は、児童がリズムに合わせて自然と体を動かせるように、ロックやサンバを使用する。

(3) 課題解決に向けた適切な支援

①「動きの貯金箱」の活用

児童が気付いたことや教師が広げていきたいことを動きのポイントとし、「貯金」というやり方で記録し、掲示する。それを参考にしながら児童が動きの幅を広げたり、話し合いの共通言語としたり、学習したことを振り返ったりすることに活用していく。

②自己の動きを広げるための工夫「イメージかるた」

児童が動きのイメージをもち、即興的に動き出せるように、色々なものの動きを示したカルタを床に置いておく。カルタの表に描かれている文字をもとに、児童が動きのイメージをもち、即興的に動き出せるようにする。また、カルタの裏には、急変する場面を描き、緩急や強弱のあるひと流れの動きへと繋げていく。かるたを4～5人のグループでめくることで、グループ内で動きの役割分担をしたり、お互いに見合ったりして、様々な動きを引き出すことができると考える。

(4) 学び方の工夫

①グループ内での伝え合う機会の設定

自分の動きを他者に見られたり、相手の動きを見たりする機会を設定することにより、自己の動きを通して相手へ何かを伝えようという意識や、他者の動きが何を伝えようとしているか考えようとする意識がはたらくと考えられる。それらの意識が、自分の動きを高めていこうという意欲につながると考える。

7 単元計画

時間	1	2	3(本時)	4
段階	知る	つかむ・高める		
ねらい	これまでの学習を振り返り、学習課題を見出す。	表したい感じやイメージをひと流れの動きで踊る。		
めあて	「海の中のものになりきってひと流れの動きでおどろう。」	「色々なものになりきって、ひと流れの動きでおどろう。」		
学習活動・内容	1. 整列・挨拶			
	2. 準備体操 (忍忍忍者、だるまさんが転んだ)			
	3. ノリノリダンスに取り組む。 ・フォークダンス ・めちやくちゃダンス			
	4. めあての確認。 「海の中のものになりきって、ひと流れの動きでおどろう。」 5. 海の中のもののイメージを出し合い、イメージを共有する。 6. 大きなイメージカルタをグループでめくり踊る。	4. めあての確認。 「森の中のものになりきって、ひと流れの動きでおどろう。」 5. 森の中のもののイメージを出し合い、イメージを共有する。 6. 大きなイメージカルタをグループでめくり踊る。	4. めあての確認。 「家の中のものになりきって、ひと流れの動きでおどろう。」 5. 家の中のもののイメージを出し合い、イメージを共有する。 6. 大きなイメージカルタをグループでめくり踊る。	4. めあての確認。 「宇宙のものになりきって、ひと流れの動きでおどろう。」 5. 宇宙のイメージを出し合い、イメージを共有する。 6. 大きなイメージカルタをグループでめくり踊る。
	7. 整理運動 8. 学習のまとめ 9. 整列・挨拶			
知識・技能	①		②	
思考・判断・表現		①		②
主体的に学習に取り組む態度	③	①		②

8 本時 (3/4時間目)

(1) 本時の目標

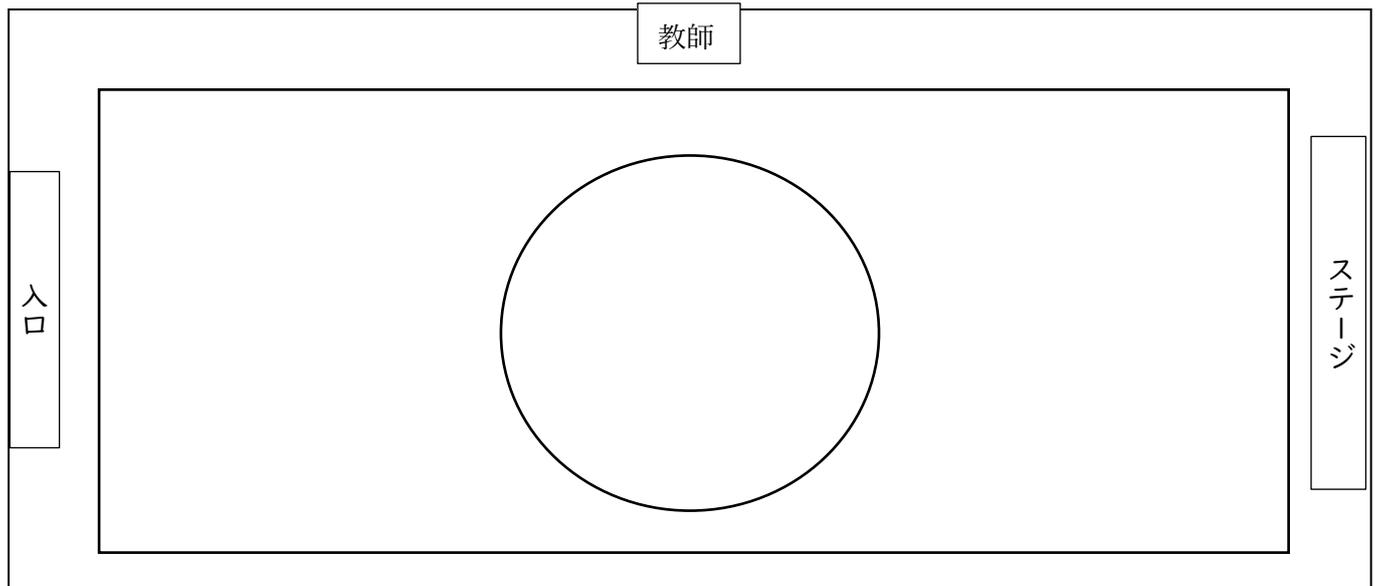
- ・表現の行い方を知るとともに、なりたいものの動きの特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができるようにする。(知識・技能)

(2) 本時の展開

	学習内容・活動	○指導上の留意点 ◆評価基準
導入 10分	1 円形に整列・挨拶する。	○体の上下の動き、緩急を意識させた声かけをする。 ○軽快なリズムの音楽を流し、明るい雰囲気の中で楽しく体を動かせるようにする。
	2 準備体操をする。(曲：ダンスホール) ・忍忍忍者 ・だるまさんが転んだ など	
3 「ノリノリダンス」をする。 ・マイムマイム ・めちゃくちゃダンス (曲 サンバ：風になりたい、ロック：ウルトラソウル)		
4 めあての確認		
展開 25分	<p>家の中のものになりきって、ひと流れの動きでおどろう。</p>	
	5 家の中のものについてイメージを広げ、児童と話し合い、イメージを共有する。	○探検マップを活用し、イメージを広げる。 ○「動きのちょきん箱」に前の時間に出た良い動きを掲示しておく。
	6 グループごとに大きなイメージカルタをめくり、書かれているいろいろなものの動きで踊る。 ・8グループ(1グループ4～5人)で活動する。 ・8つのカルタをめくるまで活動する。	○児童からの動きが出てこない場合や、十分でない場合には、教師からいくつか提示する。 ◆身近な題材の主な特徴をとらえ、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面などの変化のある動きをつなげて、ひと流れの動きにして踊ることができる。(観察、知・技②) A：表したい感じや特徴をとらえ、体を大きく動かしたり緩急をつけたりして、ひと流れの動きで踊っている。 B：表したい感じや特徴をとらえ、ひと流れの動きで踊っている。

ま と め 10 分	<p>7 整理運動をする。</p> <p>8 本時の学習のまとめとして、動きの貯金箱に入る良い動きを話し合う。ワークシートに本時の学習活動について、振り返る。</p> <p>9 整列・挨拶</p>	<p>C：表したい感じや特徴を意識できず、ひと流れの動きで踊ることができない。</p> <p>○穏やかな曲調の音楽（曲：夕焼け小焼け）に合わせて、ゆっくり体をほぐす。</p> <p>○緩急、スローモーション、上下運動、静動などの動きを取り上げ、賞賛する。</p> <p>○自分の動きで工夫したところ、友達の動きで良かったところを振り返る。</p>
------------------------	--	---

9 場づくり（体育館）



10 資料

①窪町探検マップ



②イメージかるた

表

リスのどんぐりさがし！
なんこ見つかるかな？

裏

あぶない！！
上からマツボックリ
が落ちてきた！

③動きの貯金箱





レッツゴーくぼ町たんけんたい！

3年 組 番 氏名

時間	今日のめあて	自分の動きでくふうしたところ	友だちの動きでよかったところ
1	レッツゴーくぼ町たんけんたい、 海の中のものになりきって、 ひと流れの動きでおどろう。	<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>
2	レッツゴーくぼ町たんけんたい、 森の中のものになりきって、 ひと流れの動きでおどろう。	<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>
3	レッツゴーくぼ町たんけんたい、 家の中のものになりきって、 ひと流れの動きでおどろう。	<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>
4	レッツゴーくぼ町たんけんたい、 宇宙のものになりきって、 ひと流れの動きでおどろう。	<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>

1 1 参考文献

- ・小学校学習指導要領（平成29年 告示）解説体育編
- ・小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック

1 2 成果と課題

○・・・成果 ●・・・課題

- 2年時に色々な生き物になりきる動きを経験させた積み重ねがあり、3年時で生き物でない物の動きもスムーズに表現できた。
- 探検マップを作ることで、視覚的に学習の流れがわかるようになった。
- 毎時間、円形になりフォークダンスやリズムに合わせて自由に踊るめちゃくちゃダンスを活用したことで、心と体のスイッチを入れ学習に臨むことができた。
- 「役割分担する」「体を大きく使う」など良かった動きを「動きの貯金箱」として毎時間表示したことで、良い動きの目標を児童がもつことができた。
- 表現運動中に教師がピンマイクを使うことで、良い動きを他のグループに示すことができた。
- イメージかるたを使用することで、児童の興味関心を高めることができ、急変の場面では工夫して表現運動することができた。
- めあてに入っている「ひと流れのうごき」の言葉の定義を掲示し、言葉の意味を共有することができた。
- 表現運動で4時間とるのは、難しいこともある。